

アカモズ

Lanius cristatus Linnaeus
スズメ目・モズ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

選定理由

1976年に三国町黒目の松林で繁殖した記録があり、その後は1984年3月に旧三方町気山、2002年5月に中池見湿地、2013年10月にテクノポート福井で記録があるだけの希少種である。現在も渡り期にわざかに通過していると推察されるが、極めて個体数が少なく絶滅危険度が高い。

種の特徴

全長20cm、額は白く頭上～尾まで赤褐色、翼は黒褐色、眉斑は白くて過眼線は黒い。下面是白く、脇は橙黄色を帯びる。モズと同様に昆虫、両生・爬虫類、鳥類等を捕食するが、モズに比べて、飛翔する昆虫類や樹木の葉にいる昆虫類等を食べる割合が多い。

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○					○						

イワヒバリ

Prunella collaris (Scopoli)
スズメ目・イワヒバリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生息可能地を現地調査し過去の記録を集計したが、出現率が27%と低く、2003年以降の越冬記録もなかった。三ノ峰周辺で少数が繁殖していると思われるが、今回の調査では、繁殖の確認はできなかった。本県は繁殖地の周辺部にあたり、生息基盤が極めて脆弱である。

種の特徴

全長17～19cm。スズメよりやや大きい。雌雄同色。額～後頸、胸にかけて灰色で、腹～尾までの体下面、肩羽、腰は栗茶色で羽縁が淡褐色。背は淡黄褐色で黒褐色の縦斑がある。雑食で繁殖期は主に昆虫食、冬季は種子食である。

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○		

ウズラ

Coturnix japonica Temminck & Schlegel
キジ目・キジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：要注目

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

福井県レッドデータブック（動物編）第1版では、生息状況が不明な種として要注目に選定されたが、その後2件の目撃情報があった。みつけにくい種であり、生息状況が把握されているとは言い難いが、個体数は少なく、絶滅の危機は増大していると推察される。

種の特徴

全長20cm、小さくて体が丸く、尾は短い。淡褐色の頭央線と眉斑があり、頭～上面には黒褐色の斑があり、淡黄色の縦斑が目立つ。雄は繁殖期に濁った大声で「ジュッピッピー」と盛んに鳴く。草むらの中を歩きながら、草の種子や果実、昆虫類やクモ類を採餌する。

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○										○				○	○

分布

夏鳥として本州中部～北海道で繁殖し、本州西部では稀である。平地～山地の明るい林や低木のある草原等に生息する。本県では、海岸に近い地域での4件しか記録がない。

生息を脅かす要因

繁殖記録や通過記録がある海岸の明るいクロマツ林や低木のある草原を保全していくことが必要である。松枯れに対しては、薬剤散布ではなく伐倒法等で防除し、餌となる小動物を減少させないことが重要である。また、生息状況を把握するための調査も必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県自然環境保全調査研究会（1999）、福井県（2002）、中村・中村（1995）、高野（2015）、大西・真木（2000）